

● 2023年これまでの活動

6月11日 サロンコンサート vol.7 in 甲東ホール

8名の詩人と8名の作曲家による13曲が再演され、6名の歌手が個性豊かに歌い上げました。今年のコンサートでは、下村正彦さん、古瀬徳雄さんの作品も取り上げられ、それぞれ奥様がお見えになりました。

歌曲は再演され、歌われてこそ、生き生きと羽ばたくことが出来ます。どうか歌手の皆様、ご出演されない本公演や、サロンにもお越しただいて曲を聴いていただき、お持ちでない出版楽譜をご購入下さい。ご興味のある曲がありましたら初演音源もご用意できますので、再演コンサートにご参加ください。

初演の歌手が再演する必要はありません。違った歌手がまた違う演奏をするのも再演の良いところです。曲を知らないことで尻込みされる演奏会員の方もおられます。作詩、作曲会員の皆様この人に、と言う方がおられましたらお声かけください。

再演曲 エレジー、ことづて、夜の雨、ベネチア、
旅の譜、シエナの朝は、夏の丘I・II、
桜の空、蠟梅の花、その朝、
日なたはええなあ、旅



サロンコンサート感想

藤田浩恵（出演者）

サロンコンサートには6年ぶりに参加させていただきました。楽しかった！の一言につきますが、二度もご指導いただける練習会の設定や、スタッフの皆様のきめ細やかな準備とご親切には、頭が下がります。安心と自信に繋がりました。ホールもゆったりとしたスペースに響きよく、盛会にもなり、おかげさまでした。今回の3曲は初演でも歌わせていただいたのですが、あれから何年もたっているのに、新鮮で清々しいのはなぜだろう？

当時の記憶がよみがえるようでした。皆さまとの交流も嬉しかったです。これからも再演コンサートが盛んに続いていきますように願います。この度はお世話になり本当に有難うございました。

茶木敏行（出演者）

初めまして！この度詩の部門で入会させていただきました、茶木敏行と申します。専門がテノールの歌手であり、鍼灸師をしています。何故歌手でありながら詩の部門に入会したかと申しますと、長い年月音楽と音楽の融合した芸術であるドイツ歌曲を好んで演奏して来て、自分は音楽よりも先に文章が好きなのだ、ということに漸く気付いたためなのです。

いつの日か自分の書いた文章に何方かが音楽を重ねて下さり、それを自分自身の声で演奏する。それを想像するとわくわくした気持ちになります。

会の方からお声かけ下さり、先日の再演コンサートに出演させていただきました。詩人、作曲家、演奏家が寄り合ってオリジナルな作品を生み出すというこの取り組みは、一体何方が発案されたのでしょうか？他に例を見ない素敵な活動だと思いました。

山田耕筰、中田喜直の時代を経て、日本歌曲は以後発展してきた、とは言い切れないところがあるのではないのでしょうか。そんななか、新しい日本歌曲を模索するこの取り組みに参加できることを、とても嬉しく感じています。

神谷依香（来場者）

今回、サロンコンサートにて全ての作品を拝聴させていただきました。館内満席のお客様も皆真剣に聴いておられ、素晴らしいコンサートだったと感じております。

全ての詩に曲想が練られていることを味わい深く感じられ、学ぶべき事も多く大変勉強となりました。その中でも今は亡き先生方の作品は今回のコンサートに、より一層の華を添える形となり、勝手ながら涙腺が緩んでおりました。そして何よりもその想いを表現してくださる歌手の方々とピアノ演奏に本当に心を動かさせていただきました。

素晴らしいコンサート大変ありがとうございました。

新入会員のご紹介

【作曲】井藤麻依子（いとうまいこ）

推薦者 薬谷佳苗（役員）、豊田典子（演奏会員）

プロフィール：

京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻首席卒業。音楽学部賞、京都音楽協会賞を受賞。大阪教育大学大学院教育学研究科修了。ピアノを上野敬子、鳥居知行、和声、作曲を上野敬子、鶴田睦夫、藤島昌壽、松本日之春、前田守一、中村典子、猿谷紀郎の各氏に師事。

<作曲>

ほたるこい～声とピアノのための～(2020) / 星めぐりの歌(2021) / 連作「郷里に」1. ふるさとへの前奏曲-ピアノのための- 2. 新釈ふるさと(2022) / 星めぐりの歌(2023 改訂版)

<編曲・ピアノ伴奏編曲>

故郷(2020) / ペチカ (2021) / 日本の童謡より～しゃぼん玉、七つの子、赤とんぼ～ (2021) / ラター：永遠の花 for 1 piano 4 hands (2022) / amazing grace (2022) / ヴィヴァルディ：合奏協奏曲「調和の靈感」作品3-6 第1楽章 ピアノ伴奏

コメント：

作詩家、声楽家のみなさんと一緒にできるとうかがい楽しみにしております。

わからないことばかりで色々お尋ねするかもしれませんが、よろしく願いいたします。

【作曲】渡辺さとみ（わたなべさとみ）

推薦者 白井淳子（役員）、南川弥生（作曲会員）

プロフィール：

大阪音楽大学作曲学科作曲専攻卒業。同大学院作曲研究室終了。鈴木英明氏に師事。名古屋文化振興賞入選。吹田音楽コンクール作曲部門優秀賞受賞。京都フランスアカデミーにてG・AMY氏のレッスンを受講。日本女性作曲家連盟、西宮音楽協会会員。現在、大阪音楽大学作曲部会非常勤講師。

コメント：

ひょうご日本歌曲の会は、会員でいらっしゃる白井先生、南川先生、三善先生よりご案内をいただき、何度も素敵な歌曲の演奏を拝聴致しておりました。この素晴らしい会で自作品も発表出来ましたら素敵だと存じます。

● 「新しい日本の歌15」コンサート

11月24日金曜日19時開演

於 兵庫県立芸術文化センター小ホール

本年は6名の作曲会員により以下の作品が発表される予定です。

モンゴル

ふるふるさくら — 京都

ながれ ほし ながれ

五月の罨

秋が来て

おくりもの

ひとひらの春

蓮

※ 本年度から重複しての作曲が可能となっています。

編集後記

うだるような暑さの中、朝からにぎやかな蝉時雨が聞こえてくる季節になりました。小中学校はもう夏休みですね。子どもたちの元気な声が聞こえてきます。

緑あふれる再演のサロンコンサート。多くの会員様のご協力により、お客様にも恵まれ、無事開演することが出来、事務局一同ほっと胸をなでおろしております。サロンコンサートは甲東ホールという演奏には条件の良い会場だったにも関わらず、参加者が少なく少し残念でしたが、お客様に恵まれ、良いコンサートだったと思います。参加者他感想を書いていただきましたので、ご覧になって、是非来年はふるってご参加ください。

残念ながらまたコロナが増えているとのこと、各地で公演の中止や延期が増えてきました。実際のところ周りでも聞きますし、私の関わる公演も一つ延期になりました。また、夏風邪も流行っているようです。皆様には決して油断されず、元気にお過ごしくださいますよう。

11月の本公演にてお目にかかれるのを楽しみにしております。

事務局 薬谷佳苗

